

製品名: RAB11A (4O16) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16767**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IP 1:10-1:100
分子量	24kDa

抗原情報

遺伝子名	RAB11A MGC1490; Rab 11; Rab 11A; Rab-11; RAB11 A; RAB11; Rab11a; RAB11A member RAS
別名	oncogene family; Ras related protein Rab 11A; Ras related protein Rab11A; Ras-related protein Rab-11A; RB11A; YL 8; YL8;
遺伝子 ID	8766.0
SwissProt ID	P62491
免疫原	ヒト Rab11A の合成ペプチド

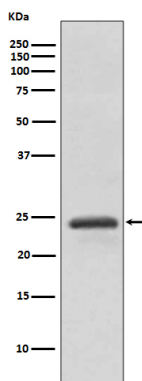
背景

Rab11a、Rab11b、および Rab25 は、小型 Ras 様 GTPase である Rab11 ファミリーのメンバーです。Rab11 (アイソフォーム Rab11a および Rab11b) は、核周縁部、細胞膜、およびゴルジ体エンドソームのリサイクリングにおける重要な調節因子として機能します。Rab11a と Rab11b は、一部重複しているものの、細胞分布と機能的役割の両方において明確な違いがあります。Rab11a は普遍的に発現していますが、Rab11b は主に心臓と脳に存在します。他の Rab タンパク質と同様に、Rab11 は Rab11 ファミリー相互作用タンパク質 (FIP) との相互作用を介してその機能を発揮します。小型 GTPase である Rab は、輸送小胞の形成から膜との融合に至るまで、細胞内膜輸送の重要な調節因子です。Rab は、不活性な GDP 結合型と活性な GTP 結合型の間を循環し、小胞の形成、移動、係留、融合に直接関与する様々な下流エフェクターを膜にリクルートすることができます。小さな Rab GTPase である RAB11A は、エンドサイトーシスによるリサイクリングを制御します。細胞質分裂における膜輸送の主要な制御因子として機能します。MYO5B および RAB8A とともに、上皮細胞の分極に関与します。RAB3IP、RAB8A、エキソサイト複合体、PARD3、PRKCI、ANXA2、CDC42、DNMBP とともに、PODXL の頂端膜開始部位 (AMIS) へのトランスサイトーシス、頂端面形成、および内腔形成を促進します。MYO5B とともに、CFTR の細胞膜への輸送と非分極細胞における TF (トランスフェリン) のリサイクリングに関与します。MYO5B および RAB11FIP2 との複合体を形成し、NPC1L1 を細胞膜へ輸送するために必要である。CDH1 のゴルジ体から細胞膜への選別および基底外側輸送に関与する。FCGRT (単量体 IgG の Fc 領域受容体) の基底外側膜へのリサイクルを制御する。メラノサイトからのメラノソームの輸送および放出にも関与する可能性がある。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の RAB11A 発現のウェスタンブロット分析。